

大阪はびきの医療センター 第59号 令和3年3月

地域医療連携室だより



今年度を振り返って

地域連携室室長： 川島 佳代子

マネージャー： 秦 順子

花の便りが聞かれる頃となりましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は思いがけない新型コロナウイルス感染拡大が起こり、その対応に負われた一年でした。

ここにきてようやくワクチン接種が開始され、少しずつ明るい兆しも見えてきております。

長引くコロナ禍においては、勉強会、研修会、会議も中止を余儀なくされ、それに代わり、オンライン会議や面談、Webでのセミナーや勉強会が行われるようになりました。

当センターでも、今まで推進してきた活動ができない代わりとして、Web勉強会の“はびきのチャンネル”を10月より開始し、このお届けしている地域医療連携室だよりも年4回の発行から、毎月の発行に回数を増やしました。また退院時共同指導時のオンライン参加も進めています。

4月より導入した地域診療情報システム「はびきのメディカルネット」は、28医療機関より申し込みをいただき、登録患者数は80名以上となりました。ご登録いただいた先生方には感謝申し上げます。さらにご登録いただけるよう推進して参ります。

当センターは、4月から地域医療支援病院として大阪府より認可され、新たな一步を踏み出します。地域の医療機関との連携をさらに推進し、地域に必要な医療を提供できるよう努めて参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

4月のはびきのチャンネル

“鼻副鼻腔疾患の取り扱い

～専門医への紹介を考慮すべきポイントとは～”

4月15日（木）14:00～15:00

耳鼻咽喉科 主任部長 川島佳代子

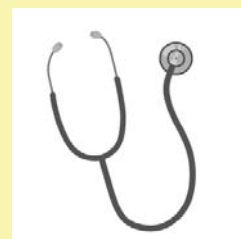
*詳細および申し込み方法は同封しておりますチラシをご参照ください。

*今までのはびきのチャンネルの動画をアーカイブとしてご覧いただけます。（登録医限定）

詳細は、地域医療連携室までお問い合わせください。

小児循環器専門外来 開設のお知らせ

2021年4月より、大阪急性期・総合医療センター
小児科 小垣滋豊先生他、循環器を専門とする先生方
のご協力をいただき、小児循環器外来を開設することとなりました。
心雑音、不整脈、検診での異常時の精査など、
お気軽にご紹介ください。



【診察日】

第1・3・5週（奇数週）の水曜日 14:00～17:00

予約方法：地域医療連携室へ前日 17時までに、

診療予約申込書（HPよりダウンロード可能ですが、改訂版を同封しております）
および 診療情報提供書をFAXしてください。



*詳しくは、同封しておりますご案内を
ご参照いただきますようお願いいたします。

当センターでもワクチン接種を開始しました



3月9日より当センターでも職員への新型コロナウイルスの
ワクチン接種が始まりました。
当センターとしても引き続き医療提供体制を確保し、
新型コロナウイルスの収束に向けて
取り組んでまいります。



WAO Centers of Excellence に認定

アレルギー分野における当センターの取組が評価され、
2020年12月に世界アレルギー機構(WAO)より
Centers of Excellence に認定されました。日本では
4番目、アジア・太平洋地域では8番目の認定施設と
なります。引き続き、WAOのミッションに貢献できる
ように、さらに高いレベルを目指して取り組んでまいり
ます。





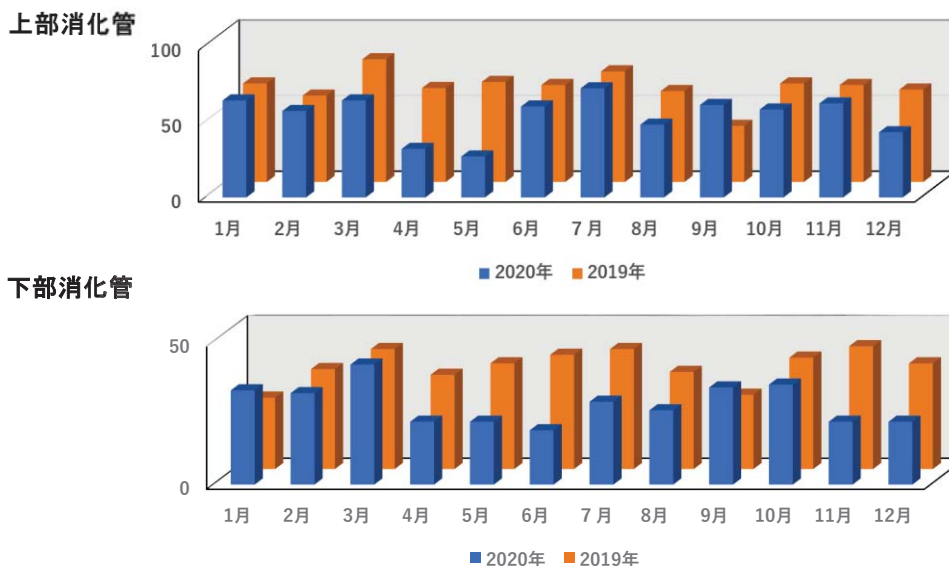
消化器外科 vol.2

消化器外科主任部長 宮崎 知

新型コロナ禍による消化器疾患診療への影響

当院では昨年2月のダイヤモンド・プリンセス号から3名の患者の受け入れから始まり、令和3年1月末まで計488人の入院患者の治療を行っています。4月には緊急事態宣言もあり、病院での感染も懸念され、通院患者の受診延期、新規患者の受診控え等により消化器内視鏡検査数も、昨年度に比べ上部では107例、下部では95例の減少がみられました。月ごとに見ると非常事態宣言が出された4月からの減少が顕著となり、9月には一旦昨年並みまで増加しましたが、年末の感染拡大に伴い再度減少しています。胃癌患者症例では検査控えの影響もあり2019年は早期癌12例、進行癌7例でしたが2020年は早期癌が9例、進行癌が13例で早期胃癌が減少し、進行癌が増える傾向がみられました。大阪大学消化器外科関連施設42施設の胃癌手術集計でも2019年1920例、2020年1628例と前年比84.8%の減少でした。この傾向は今年も続くとみられます。内視鏡検査は決して楽な検査ではなく、コロナ禍を理由にして先延ばしになりがちですが、消化器癌の治療の基本は早期発見、早期治療に勝るものではありません。当院では多数の新型コロナ患者の診療を行っていますが、感染対策には万全を期しており院内感染はいまだ認めておりません。どうぞ安心して消化器症状のある場合はもちろん、術後の定期検診も予定どおり受診していただくようお願いいたします。

消化管内視鏡検査数 (2019年vs2020年)



乳腺外科 vol.1

乳腺外科主任部長 安積 達也

大阪はびきの医療センター 乳腺外科は、乳癌・消化器癌などの治療を行っていた消化器外科・乳腺外科より、乳がんをはじめ乳腺疾患や甲状腺疾患を主に診療する部門として、2016年4月より乳腺外科として診療を行っています。

乳腺外科では、羽曳野市の住民を対象とした乳癌検診（一次検診）や、乳癌一次検診で要精査となった方の精密検査を行う乳癌二次検診などの乳癌検診をはじめ、乳がんなどの悪性腫瘍や、乳腺良性腫瘍などの診断および治療を行っています。



乳腺疾患の診断は、マンモグラフィーや乳腺超音波検査を基本検査とし、穿刺細胞診や針生検などの組織検査を行い病理学的診断を行っています。

より確実に病理診断を行うために、吸引式乳房組織生検（vacuum-assisted breast biopsy, VAB 左写真）を行います。当院でもこれらの検査を行い、乳癌や乳腺疾患の診断を行っています。

当院は、日本乳癌学会の認定施設(右写真)であり、乳腺専門医(右上写真)が乳癌の診断治療を行っています。

乳腺専門医が、診断および治療方針を検討し、また診断・診断に難渋する症例では内科・放射線科とのカンファレンスを通して、個々の乳癌患者の治療方針を検討しています。

また当施設には、放射線治療施設があり、他院へ紹介することなく、当院で放射線治療を行うことができます。手術療法・放射線療法・薬物療法などの乳癌治療を単一施設で完結することができます。



〈お詫び〉今月号で泌尿器科を紹介する予定にしておりましたが、都合により乳腺外科に変更させていただきました。

次回は引き続き乳腺外科 (vol.2)、あらためて泌尿器科を掲載させていただきます。

退職医師のお知らせ

副院長 田中敏郎 (令和3年1月末日付)

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室

直通：072-957-8030 代表：072-957-2121

FAX：072-957-8051

地域連携室室長：川島 佳代子

マネージャー：秦 順子